

みさけ福祉だより

編集・発行 味酒地区社会福祉協議会
地域福祉サービス事業

味酒地区

令和7年8月1日 現在
世帯数 12,124 世帯
人口 20,506 人
男 9,503 人 女 11,003 人
65歳以上 5,768 人
高齢化率 28.1%

勝山中学校 校長 森脇 和夫



タブレットを 活用する日常

味酒地区の皆様には、日頃から勝山中学校の教育活動にご協力をいただき、また生徒の健全育成にもお力添えをいただいていることに心から感謝いたします。

学校の活動や地域の行事において、中学生が地域の方と交流をする場面は小学生の頃と比べると少なくなっています。そこで今回のような機会を通して、充実した学校生活を送っている勝山中学の姿を紹介していきたいと考えています。

さて、学校においてコロナ禍を乗り越えて大きく変化しましたが、1人1台端末(以下「タブレット」と表記します)の導入です。生徒全員が個人用のタブレットを持っており、学校生活のあらゆる活動においてタブレットを使うことは日常となっています。

例えば学習においては、調べ学習、プレゼンテーションソフトを使った発表のための資料作成、ドリルなどの小テスト、中間・期末テストの受験、教師への課題提出など多岐にわたって活用されています。特に全ての教科において、タブレットを使って「調べる」「考える」「まとめる」、そして学級全員の作業を大型モニターで共有する授業が行われており、タブレットはなくてはならない学用品となっています。

タブレットを活用することで個に応じた学習が可能になり、また、プリントなどの紙媒体からデジタルへ変わることで、学習活動の効率化を図ることができています。

そして授業以外においても活用の幅が広がっています。生徒会活動においては、生徒集会を生徒会のタブレットと各クラスのタブレットをオンラインでつなぎテレビ会議方式で実施しました。学校の課題について各学級で話し合い、その結果をタブレットに入力して全校で共有します。生徒会役員は出された意見を確認しながら全校生徒に問い掛けて解決方法やこれからの取組について話し合います。これまでは体育館で行っていた生徒集会を双方向のオンラインで開催することで、冷房の効いた教室の落ち着いた雰囲気の中で



真剣に考えることができ、より充実した生徒集会になりました。

現代の学校は、Wi-Fiの整備やアプリケーションの充実などタブレットの活用に向けた環境が整っています。日を追って発展するタブレットの活用と、それに生徒が順応していく姿を目にすると、これからの学校生活においてタブレットなどのICT機器は欠かせない道具になってきていると実感しています。

最後に、勝山中学校はタブレットをはじめとする時代の変化に対応しながら、創立79年の伝統も守り続けています。今後も味酒地区の皆様には勝山中学校に関心を持っていただき、生徒たちを温かく見守っていただければと思います。これからも、勝山中学校をよりよく願っています。

松山市地域包括支援センター味酒・清水 (清水小学校 北校舎1階)

☆高齢者の方が、住み慣れた環境の中で暮らし続けるための総合相談窓口です。
☆主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが連携して高齢者の支援を行います。
☆相談内容に関しての秘密は堅く守ります。
☆相談は無料です。

電話 (089) 911-1135

悩み・疑問・心配ごと ひとりで抱えていませんか？
お気軽にご相談ください。



介護や健康のこと

- ・介護保険制度について知りたい
- ・足が弱ってきて心配
- ・家族の介護について知りたい
- ・最近忘れっぽくなってきた
- ・高齢者向けの施設に入りたい
- ・今の健康を維持したい



さまざまな相談ごと

- ・一人暮らしの高齢者が心配
- ・退院後の生活が心配
- ・認知症について知りたい
- ・使いやすいお風呂のイスがほしい
- ・玄関に手すりをつけたい



権利を守ること

- ・悪質な訪問販売の被害にあった
- ・年金を家族や他人に悪用されている
- ・財産管理に自信がない
- ・虐待が疑われる人がいる



受賞おめでとう ございます

松山市福祉大会
松山市長表彰



民生委員・児童委員功労者

石本 政志・浮穴 公孝

鎌田 昭義・忽那 敏子

久保真里子・塩濱ツヤ子

塚本 泰史・西原 伸禎

松本 千鶴・山田 玲子

山根 幸子

地域福祉活動功労者

井上 成計・丹生谷千代

堀本由美子・山本 直美

地域福祉活動功労団体
味酒地区町内会連合会

松山市社会福祉協議会会長表彰

ボランティア活動功労者

渡邊 理絵

編集後記

年々、暑さが厳しくなっています。そんな中、線状降水帯、ゲリラ豪雨が各地でおこり、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

温暖化による気候変動を遅らせるため一人一人が日常生活でできる、ごみの削減など「SDGs」に挑戦しましょう。

今回も多くの皆様にご協力頂き、本当にありがとうございました。

赤い羽根共同募金のお願い

今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動が全国一斉にスタートしました。皆様から寄せられた真心の募金は大切に地区の社会福祉活動に活用させていただきます。ご協力宜しく

お願い致します。





合唱に魅せられて、練習を重ねてきた私達「みさけコール」です。

結成から37年、現在会員16名、歌唱指導の先生、ピアノの先生で活動しています。当初からのメンバーも数人います。

毎年、「えひめ音楽愛好会」という発表会、味酒公民館の文化祭、みさけ夏祭り、はたちの集いにも参加してきました。

公民館の文化祭ではクッキーを手作りし、販売しています。

さて、会員の皆さんが集まって来ました。今日の練習風景を紹介します。初めに体と心をほぐす為「ラジオ体操」です。普段使わない部分を曲げたり、伸ばしたり：何事も準備が大切です。

次にピアノの音に合わせて発声練習です。徐々に声が出てくるようになりました。

そして、歌唱指導の先生のもと、コーラスの練習です。真剣な中にも和やかな、心地良い歌声が耳に届きます。

今は、秋に行われる発表会に向けて練習しています。



みさけコール 紹介

響け 味酒っ子

令和8年2月8日(日)
「2026 全国小学校
管楽器合奏フェスティバル」
(第43回西日本大会)
兵庫県姫路市で開催されます。
「味酒小学校金管バンド部」が中予地区代表で出場します。

会員募集のお知らせ

伝統ある「みさけコール」
歌を歌う事、体の中から声を出す事、心身共に健康の為、楽しいコーラスで心をリフレッシュしてみませんか！
毎週火曜日、午後2～3時30分まで練習しています。歌の好きな方、興味のある方は、是非練習会場へ見学に来て下さい。公民館3階でお待ちしております。

福祉講座開催報告

一、5月28日(水)
講師 市民生活課
「被害にあいやすい悪質商法の手口とその対策」
楽しいコントを通し、被害に遭わないためのポイントを学びました。

一、6月12日(木)
講師 松山市子ども相談課
「こどもの笑顔を咲かせましょう！」
未来の宝である子供の笑顔を守るため、気をつけたい事などを学びました。

一、7月9日(水)
講師 地域包括支援センター
味酒・清水
「きこえのセミナー」
聞こえの仕組みを知り、難聴の度合や種類などを学びました。

来年度も味酒公民館で開催の予定です。
お問い合わせは、お近くの民生委員にお願いします。

味酒にこの人あり

出合いに支えられて



土居 貴美

古い登山竜胆群れ咲くところまで

若い時から、山登りが好きで、時間があれば出かけたものです。しかし、この年になると、それも思うに任せず、最近では石鎚登山も中腹までとなっています。一人下山しながら、我が人生の来し方を思うことがあり



秋の石槌山天狗岳

ます。そんな時心に浮ぶのは、私の人生に関わってくれた沢山の山の人々との出合いです。

その大切な「出合い」は、小学一年生の時の成川澄子先生との出合いです。私たちはこの出合いで、自信をもって生きることを学びました。美しい文字で思いやりのある言葉で書かれた通知表は、生涯の宝になりました。そして、この「出合い」に支えられて、私は教師としての道を選びました。

以後、教員生活の中で、純真な児童生徒や教員仲間との出合いが、現在の自分を支えてくれているのは言うまでもありません。

退職後、地域の方々との関わりの中で生活が始まったとき、今まで地域の諸活動や行事に、何一つ参加できていなかったことに気づき申し訳ない気がしていました。

そんな時、公民館長の依頼があり、最初は二の足を踏んだのですが、地域に恩返しする良い機会かと考え直

しました。それから十年余りを、公民館活動に関わり、各種の生涯学習事業を実施してきましたが、常に感じたことは、地域の人的財産の発掘と活用が裏づけされての実施こそが、その充実や活性化を支えるということでした。その意味では、気軽に公民館にお訪ねくださる方、また、定期的に寄ってくださる方などの情報提供や労力提供は、活動を支える縁の下での力の役をさせていただいたことは、いうまでもありません。その陰の力なくしては、「エレベーター」の陰の力なくしては、工事が始まる前の館内の大整理や大掃除は、決して工事開始には間に合わなかったのです。

また、季節ごとに、丹精込めた花の鉢が届き殺風景な公民館に季節の風が吹きました。このような無償の行為に支えられて、公民館活動の活性化や充実が図れた長い年月の積み重ねに感謝と充実感を覚えたものです。

生涯学習展開の目標に、「学習でつけた力を、地域活動や将来への夢に繋ぐ講座」の開設がありますが、その一つに「朗読講座」(児童生徒対象)があります。この講座では、本物(アナウンサー)に出会わせることや、専門性のある身近な人(高 school 放送部員)に出会わせることなどに配慮しての実施でした。現在この講座はありませんが、講座終了者の中には、地域の各種行事や式典の司会者として活躍する学生、高校放送部員として活躍する学生、また、朗読コンテストに出場する学生、一方、アナウンサーを目指して学習を積む学生などがいます。「出合い」によって、夢実現に向けて頑張る若者の姿や、地域の皆さんに支えられて展開する公民館活動の営みなどに、確かなものを感じた十余年でした。

今は「出合い」に尽くせぬ感謝の日々です。

